

needs 生産工程の無駄を無くし、生産性を向上させたい。

生産拠点の設備稼働状況を可視化し、ムダ取りを行い、生産性を向上させる。

会社概要
 会社名 : 株式会社三友製作所
 事業内容 : 医療用分析機器関連製品の製造 等
 従業員数 : 210名
 所在地 : 茨城県常陸太田市馬場町 457

【URL : <http://www.sunyou-ss.co.jp/>】
 連絡先 : 0294-72-2245

背景
 ・ 工作機械の正確な稼働状況を把握できていない。 → 課題を抽出できない
 ・ 生産計画立案や納期確認のために遠隔地にある工場（2拠点）の稼働状況を移動したり電話で確認。 → 人手がかかる・煩雑



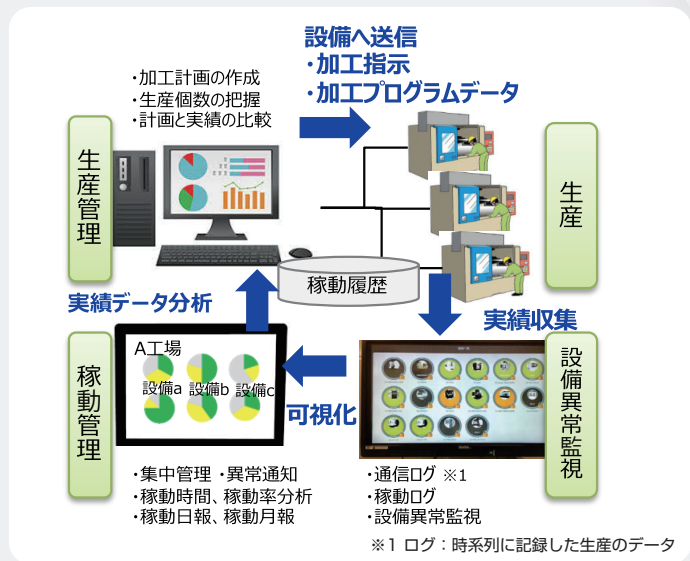
IoTを活用した課題解決の内容

検討・導入期間 : 8ヶ月
 開発者 : 外部のIT企業に委託 (Nazca Neo Linkaの導入)
 企画・推進 : 若手リーダー (29歳) が提案！
 導入コスト : 非公開
 ※中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業補正予算補助金を活用

困りごと	解決方法
1. 生産現場 ・ 設備稼働率向上の課題を把握できない ・ 加工方法が作業者毎に異なる。	1. 工作機械の個別稼働状況の可視化 ・ 設備稼働実績から課題を抽出し、稼働率向上対策を現場が自主的に立案。 ・ 加工方法の無駄を分析し、優れた作業方法を標準化。
2. 生産管理現場 ・ 遠隔拠点に生産進捗状況を直接確認 (往来・電話)	2. 遠隔拠点の生産状況の集中管理 ・ 設備稼働データをもとに生産計画作成

導入した生産管理システムの特徴

1. 設備の稼働状況を現場で可視化
2. 全拠点の生産データを一元的に管理



導入成果

- ・ 設備稼働率 : 25% 向上
- ・ 工場間の移動 (20分 / 片道)、電話での製造現場への問合せ (5分 / 回) ⇒ 不要 (PC上で把握可能)

成功したポイント

- ・ 生産設備の稼働状況を可視化することにより、今まで見ていなかった各オペレータの作業方法をデータを元に確認できるようになり、無駄取り等の作業改善に結びつけることができた。
- ・ 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業 補正予算補助金を活用して導入コストを低減したこと。

今後の展開予定

- ・ 可視化による改善を継続的に実行し、稼働率向上をさらに進める。
- ・ 稼働管理データを納期管理にも活かす。